福島市一般健康診査実施要綱

(生活保護受給者等健康診査)

(目的)

第1条 この要綱は、健康増進法(平成14年法律第103号)第17条第1項及び第19条の2に基づき、生活習慣病などの疾患またはその危険因子を早期に発見し、保健指導及び適切な医療へ結びつけることによって、市民の健康保持と増進を図ることを目的とする。

(対象者)

第2条 健康診査を受けることができる者は、本市に住民基本台帳法(昭和62年法律第81号)の住民基本台帳に登録を有し、次の各号いずれかに該当する者とする。

- 一 40歳(年齢の算定にあたっては、年度内に対象年齢に達する者を含む。以下同じ。)以上74歳以下の者で、高齢者の医療確保に関する法律(昭和57年法律第80号。以下「高確法」という。)第20条の規定による特定健康診査の対象とならない者
- 二 75歳以上の者で、高確法第51条第1号または第2号に規定する者

(実施回数)

第2条の2 実施回数は、原則として年一回とする。

(実施方法)

第3条 第2条第1号に該当する者は、国保特定健康診査に準じ個別健康診査及び集団健康診査とし、同条第2号に該当する者は、後期高齢者健康診査に準じ個別健康診査のみでの実施とする。

(個別健康診査)

第4条 個別健康診査は、市長が一般社団法人福島市医師会(以下「福島市医師会」という。)に委託し、福島市医師会に登録した国民健康保険特定健康診査(個別)登録医療機関(以下「実施医療機関」という。)が実施するものとする。

2 実施期間及び検査項目は、市長が別に定めるものとする。

(集団健康診査)

第5条 集団健康診査は、市長が公益財団法人福島県保健衛生協会(以下「保健衛生協会」という。)に委託し、実施するものとする。

2 実施期間及び検査項目は、市長が別に定めるものとする。

(実施報告及び事後指導)

第6条 実施医療機関は、受診者に健康診査の結果を通知すると共に結果に合わせて生活習慣病に関する基本的な知識などの必要な情報を提供し、相談及び指導するものとする。

2 実施医療機関は、前項の結果について速やかに市長へ報告しなければならない。

(自己負担金の徴収)

第7条 健康診査に係る費用については、市長が別に定めるものとする。

(委託料金)

第8条 市長は、福島市医師会及び保健衛生協会と業務委託の契約を締結し、支払うものとする。

(補則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、一般健康診査の実施に必要な項目については、市長が別に定めるものとする。

附 則 この要綱は、平成22年7月1日から施行する。

附 則 この要綱は、平成23年5月1日から施行する。

附 則 この要綱は、平成24年5月1日から施行する。

附 則 この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

附 則 この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

福島市一般健康診査(生活保護者受給者等健診)(個別)実施要領

福島市一般健康診査実施要綱に基づく一般健康診査(医療機関個別方式)を福島市医師会に委託し、次の要領により実施する。

1 対象者

福島市に住民登録を有する40歳以上74歳以下の者であって、高齢者の医療確保に関する法律第20条の特定健診の対象とならない者、及び75歳以上で同法第51条第1号または第2号に規定する者とする。また、実施回数は1人年1回とする。

2 実施期間

実施期間は、毎年6月1日から10月31日までとする。

3 検査項目

(1)基本的な健診項目

問診、身体計測(身長・体重・BMI・腹囲※)、理学的検査(身体診察)、血圧測定、生化学検査(空腹時中性脂肪または随時中性脂肪、HDLコレステロール・LDLコレステロール、AST(GOT)・ALT(GPT)・ γ -GT(γ -GTP))、血糖検査(空腹時血糖または随時血糖及びヘモグロビンA1c)、尿検査(尿糖、尿蛋白)とする。

※腹囲の測定については、健診当日75歳以上の者に対しては実施しない。

(2)追加健診項目

健診当日40歳以上74歳以下の者について、生化学検査(血清クレアチニン、尿酸)、尿検査(尿潜血)を実施する。

(3)詳細な健診項目

健診当日40歳以上74歳以下の者について、貧血検査等(ヘマトクリット、血色素、赤血球数、白血球、血小板)、心電図検査(12誘導心電図)、眼底検査とし、福島市国保特定健診の判断基準に準じ選択的に実施する。

また、健診当日75歳以上の者について、当該年度の健康診査の結果等において、血圧又は血糖について下記の基準に該当した者で、かつ、医師が個別に必要と判断した者を対象として生化学検査(血清クレアチニン)を実施するものとする。

詳細項目	実施できる条件(判断基準)
生化学検査 (血清クレアチニン)	①収縮期血圧が130mmHg以上又は拡張期血圧が85mmHg以上 ②空腹時血糖が100mg/dl以上、HbA1cが5.6%(NGSP値)以上 又は、随時血糖値100mg/dl以上

4 実施医療機関

一般健康診査を行う医療機関は、福島市医師会に登録した実施医療機関とする。なお、実施医療機関名は市政だより等で周知するものとする。

5 検診料と自己負担金

検診料は別表1のとおりとする。また、受診者の自己負担金は徴収しない。

6 申込み方法

対象者で一般健康診査を希望する者は、直接実施医療機関窓口で電話等で申し込みを行う。

7 実施方法

実施医療機関は次により実施する。

①	申込みの受付	受診対象者であること及び保険診療にあたらぬことを確認し、受診当日の留意事項・持参物を説明する。
②	受診券(国保特定健康診査受診券と同等)の確認	受診券を回収する。 国保及び後期高齢者医療の被保険者でないことは、本人が口頭で申し出る。
③	問診票の記入	40～74歳の者は国保特定健診用問診票(別紙1)を、75歳以上の者は後期高齢者健診用問診票(別紙2)を使って問診を実施する。
④	受診者への結果説明	国民健康保険特定健康診査の基準及び後期高齢者健診の基準に従い所定の方法で判定し、結果報告書を作成、受診者に速やかに結果を説明する。

8 実施報告

実施医療機関は、健診結果を厚生労働省の定める電子的標準様式に基づく電子データとして作成し、作成した電子データファイルが収録された電子媒体に、様式[1]一般健康診査実施報告書を添付し、実施月の翌月15日まで福島市に提出する。

9 事後指導

実施医療機関は、「受診勧奨」の者に対しては的確な受診指導、「生活習慣改善の必要あり」の者に対しては必要な生活指導を行うものとする。

- 附 則 この要領は、平成29年 4月 1日より施行する。
- 附 則 この要領は、平成30年 4月 1日より施行する。
- 附 則 この要領は、平成31年 4月 1日より施行する。
- 附 則 この要領は、令和 2年 4月 1日より施行する。
- 附 則 この要領は、令和 4年 5月 1日より施行する。
- 附 則 この要領は、令和 5年 5月 1日より施行する。
- 附 則 この要領は、令和 6年 4月 1日より施行する。

(別表1)福島市一般健康診査検査料

検査項目	検査料
基本項目(必須項目)	8,954 円
血清クレアチニン	121 円
血清尿酸検査	121 円
尿潜血検査	22 円
貧血検査等	231 円
心電図検査	1,430 円
眼底検査(両眼)	2,035 円

福島市 一般健康診査(生活保護受給者等)実施報告書(月分)

令和 年 月 日 提出

電子媒体: CD-R

枚数: 1 枚

提出件数: 件 (実人数)

毎月 CD1 枚、一つのファイルに全員入れて下さい。実施月・対象者別で分ける必要はありません。圧縮(ZIP)かけないでください。

内 訳 (実施件数)		
受診時年齢	75歳未満	75歳以上
基本項目(実人数)		
*再掲 詳細項目 実施人数	クレアチニン	/
	貧血等	/
	心電図	/
	眼底	/

翌月15日まで提出願います。(最終提出は11月15日まで)

医療機関コード

医療機関名

担当者名

連絡先電話番号

福島市一般健康診査（個別）実施要領 新旧対照表

改正後	改正前				
3 検査項目 (1) 基本的な健診項目 問診、身体計測(身長・体重・BMI・腹囲※)、理学的検査(身体診察)、血圧測定、生化学検査(空腹時中性脂肪または随時中性脂肪・HDLコレステロール・LDLコレステロール・AST(GOT)・ALT(GPT)・γ-GT(γ-GTP))、血糖検査(空腹時血糖及び蛋白の有無)とする。 ※腹囲の測定については、健診当日75歳以上の者に対しては実施しない。 (2) 追加健診項目 健診当日40歳以上74歳以下の者について、生化学検査(血清クレアチニン、尿酸)、尿検査(尿潜血)を実施する。 (3) 詳細な健診項目 健診当日40歳以上74歳以下の者について、貧血検査等(ハマトクリット、色素、赤血球数、白血球、血小板)、心電図検査(12誘導心電図)、眼底検査とし、福島市国保特定健診の判断基準に準じ選択的に実施する。 また、健診当日75歳以上の者について、当該年度の健康診査の結果等において、血圧又は血糖について下記の基準に該当した者で、かつ、医師が個別に必要と判断した者を対象として生化学検査(血清クレアチニン)を実施するものとする。	3 検査項目 (1) 基本的な健診項目 問診、身体計測(身長・体重・BMI・腹囲※)、理学的検査(身体診察)、血圧測定、生化学検査(中性脂肪・HDLコレステロール・LDLコレステロール・AST(GOT)・ALT(GPT)・γ-GT(γ-GTP))、血糖検査(空腹時血糖または随時血糖及びヘモグロビンA1c)、尿検査(尿中の糖及び蛋白の有無)とする。 (2) 追加健診項目 生化学検査(血清クレアチニン、尿酸)、尿検査(尿潜血)とする。 (3) 詳細な健診項目 貧血検査等(ハマトクリット、色素、赤血球数、白血球、血小板)、心電図検査(12誘導心電図)、眼底検査とし、福島市国保特定健診の判断基準に準じ選択的に実施する。 *なお、健診当日75歳以上は腹囲、及び追加検査は実施しない。				
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1144 1854 1193 2123">詳細項目</th> <th data-bbox="1144 1151 1193 1854">実施できる条件(判断基準)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1193 1854 1396 2123">生化学検査 (血清クレアチニン)</td> <td data-bbox="1193 1151 1396 1854"> ①収縮期血圧が130mmHg以上又は拡張期血圧が85mmHg以上 ②空腹時血糖が100mg/dl以上、HbA1cが5.6%(NGSP値)以上又は、随時血糖値100mg/dl以上 </td> </tr> </tbody> </table>	詳細項目	実施できる条件(判断基準)	生化学検査 (血清クレアチニン)	①収縮期血圧が130mmHg以上又は拡張期血圧が85mmHg以上 ②空腹時血糖が100mg/dl以上、HbA1cが5.6%(NGSP値)以上又は、随時血糖値100mg/dl以上	
詳細項目	実施できる条件(判断基準)				
生化学検査 (血清クレアチニン)	①収縮期血圧が130mmHg以上又は拡張期血圧が85mmHg以上 ②空腹時血糖が100mg/dl以上、HbA1cが5.6%(NGSP値)以上又は、随時血糖値100mg/dl以上				

4～9(略)

附 則

この要領は、令和 6年 4月 1日より施行する。

4～9(略)